2025 出張！サッカーキッズ大集合 IN NOVAバイリンガル札幌東雁来保育園 報告

SOCCER KIDS　みんなあつまれ！

2025. 10. 1 （一社）札幌地区サッカー協会 キッズ委員会

（一社）札幌地区サッカー協会キッズ委員会としての巡回指導「出張！サッカーキッズ大集合」。今回は、初めて東区の園にお邪魔をしました。キッズ大集合の実施会場である「札幌サッカーアミューズメントパーク」（ＳＳＡＰ）とは目と鼻の先にある「ＮＯＶＡバイリンガル札幌東雁来保育園」で１５名の年中児、８名の年長児とともに、４名のスタッフは、楽しい時間を過ごさせてもらいました。

まずは、ボールと友達になろう！

まずは、ボールの感触や大きさ・重さなどを体感してもらい、扱いに慣れてもらうために、手で扱いながらストレッチやボールを使った運動遊びに取り組んでもらいました。今回もたくさんの笑顔があふれたり、歓声が上がったりする中で、子どもたちは、ボールとの仲を深めてくれました。

体が温まってきたところで、サッカーの基本的な動きとなる「ボールを足のいろいろなところで止めたり、触ったりすること」にチャレンジしてもらいました。みんな、上手に止めたり、コントロールしたりできていました。

足でのボールの扱いに慣れてきたところで、ドリブルやシュートにもチャレンジしてもらいました。ドリブルは慎重に、シュートは勢いよく蹴ることをどの子もしっかりとできていました。

足でもボールを上手に扱えるかな・・・

ゴールをたくさん決めるぞ！

年中児は、自分たちのゴールにシュートを決めてしまうこともありましたが、とにかくたくさんゴールを決める経験を重ねることを大切に、のびのびとゲームに取り組めるように支援しました。年長児は、得点を取られないようにゴールを守る動きも見られ、ゴールを意識してゲームをすることができていました。シュートを決めるたびに、体や声で喜びを表現する様子がたくさん見られました。シュートを決めた喜び、いつまでも大切にしてほしいものです。

いつまでも、柔らかい体で！

最後は、クールダウンの運動です。ここまでが、ひとセットの活動と考えて、必ず実施しています。今日は、体の柔軟性が高い子どもたちが多く見られました。柔軟性の高い体は、いろいろな動きを身に付けやすいですし、けが防止にもつながります。いつまでも、この体の柔軟性をもち続けてほしいものです。

また、一緒にサッカーしようね！

子どもたちに「楽しかった。」と言ってもらえることが、スタッフとしては、何よりのお土産です。また、会えるといいね！！